

# エネルギー政策の推進

## 分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給

主担当部局：地域振興部



公共施設への再生可能エネルギー導入(野迫川中学校)

くらしの向上

### 目指す姿

地域における様々な取組主体が、生活や産業活動において再生可能エネルギー等の多様なエネルギーの利活用を促進するとともに、省エネ・節電に取り組むことで、分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給を目指します。

#### 目標

平成30年度の再生可能エネルギーの設備容量について、

平成26年度比の

**1.6倍**

を目指します。

平成30年度の電力使用量について、

平成26年度比の

**3.5%低減**

を目指します。

平成30年度の太陽熱システムの利用熱量について、

平成26年度比の

**2,000MJ/h増**

を目指します。

平成30年度の家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの利用熱量について、

平成26年度比の

**3,500MJ/h増**

を目指します。

平成30年度のコージェネレーションシステム(家庭用除く)の利用熱量について、

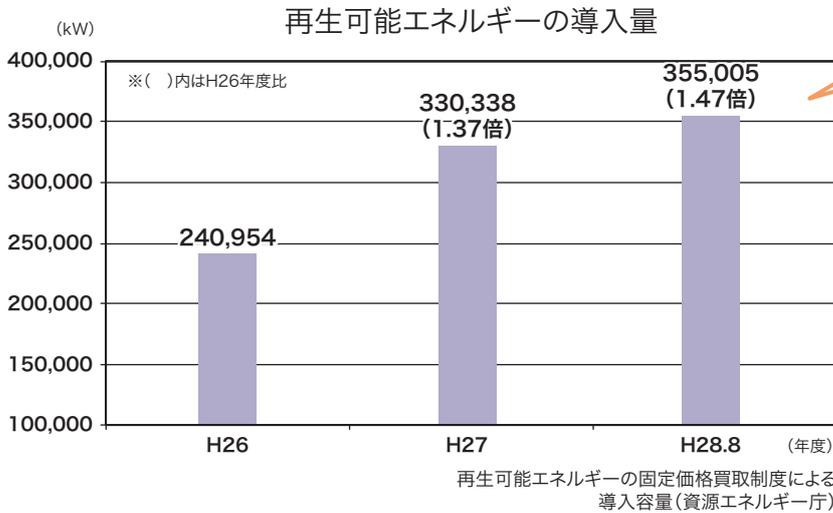
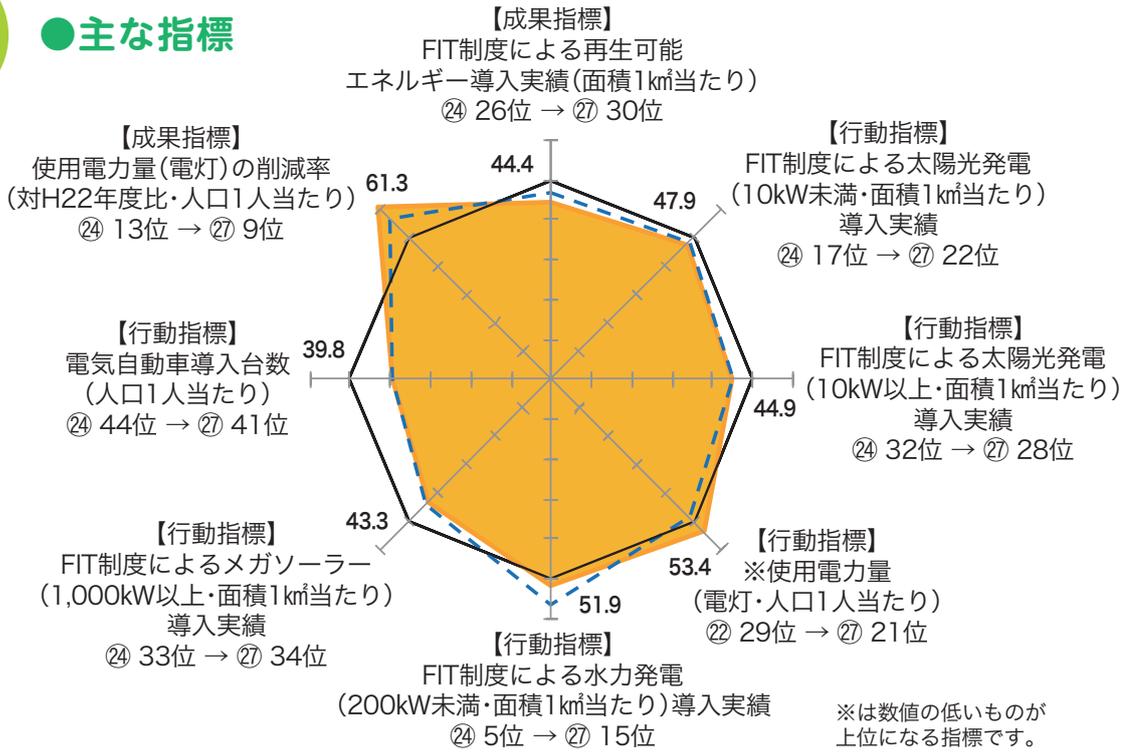
平成26年度比の

**2,500MJ/h増**

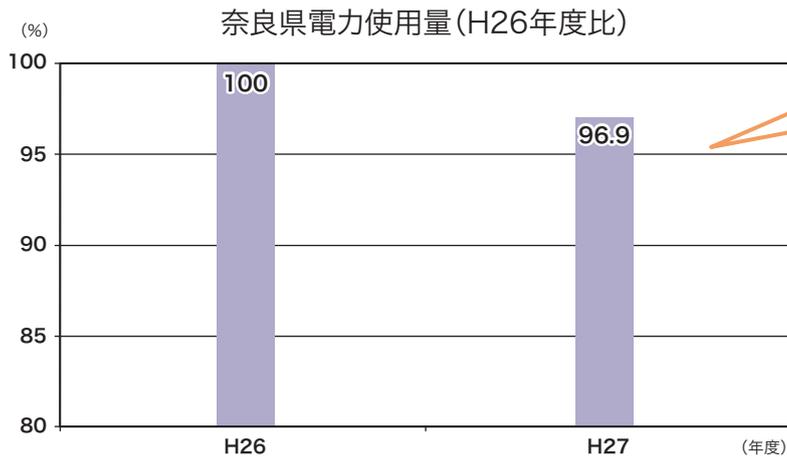
を目指します。

分析

● 主な指標



家庭での太陽光発電の導入が進んだこと等により、増加傾向が継続しています。



電力使用量の中でシェアの高い家庭での節電効果が寄与すること等により、減少しました。

## エネルギーを活用した地域振興を推進するとともに、緊急時のエネルギー対策を進めます。

主担当課：地域振興部 エネルギー政策課

### 戦略目標

- ▶ 再生可能エネルギー等の導入を地域の取組として広めます。
- ▶ 拠点となる施設等における電源確保を進めます。

### 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>再生可能エネルギーを活用した地域の取組への支援</b>				
市町村等が行う再生可能エネルギー活用事業への支援		再生可能エネルギー導入支援(調査補助)		
再生可能エネルギー導入アドバイザーの派遣		アドバイザー登録・派遣等		
<b>過疎地域におけるエネルギー・燃料確保対策</b>				
過疎地域のガソリンスタンドへの支援		地域でのガソリン・灯油等の燃料の安定供給確保のための支援策検討		
<b>公共施設等におけるエネルギー確保体制の整備促進</b>				
公共施設への非常用発電機の導入促進	環境省「再生可能エネルギー等導入推進基金」の活用		EV・LPガス発電を活用した避難所への電力供給補助	
<b>地域におけるエネルギー確保体制の整備促進</b>				
孤立集落の災害時エネルギー自給の仕組み導入支援	導入支援		EV・LPガス発電を活用した避難所への電力供給補助	
<b>家庭・事業所等の自立分散型エネルギーの導入促進</b>				
家庭のスマートハウス化による自立電源の確保支援		太陽光パネルと蓄電池、燃料電池、V2H等との組み合わせ、熱利用等の整備補助		
事業所の再生可能エネルギー熱利用の導入促進		太陽熱、自立起動機能付コージェネレーションの整備補助等		



LPガス発電による災害時のエネルギー確保  
(桜井市八井内地区)

## 多様なエネルギーの利活用を図るとともに、奈良の省エネ・節電スタイルを推進します。

主担当課：地域振興部 エネルギー政策課

### 戦略目標

- ▶ 多様な再生可能エネルギー等の普及拡大を図ります。
- ▶ 年間を通じてエネルギーを効率的に利用するライフスタイルへの転換を目指します。

### 取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<b>熱エネルギーの利活用推進</b>				
事業所の再生可能エネルギー熱利用の導入促進(再掲)		太陽熱、自立起動機能付コージェネレーションの整備補助等		
<b>未利用エネルギーの利活用推進</b>				
バイオガスの利活用		下水汚泥を活用したバイオガス発電の導入検討		
<b>エネルギーの高度利活用推進</b>				
スマートコミュニティの推進		エネルギーの面的利活用の仕組み検討		
電気自動車・PHVの導入促進		整備の推進、国の支援制度の周知等の普及啓発等		
電気自動車充電インフラ整備促進		経産省「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」を活用した整備の推進、普及啓発等		
水素ステーションの導入可能性検討		導入・整備に向けた検討		
小型風力発電の導入可能性の研究		小型風力発電の県内での導入可能性を研究		
<b>再生可能エネルギー等の県民等への理解促進</b>				
次世代エネルギーパークの活用		エネルギーパーク参加施設を活用した啓発活動の実施		
<b>「奈良の省エネ・節電スタイル」の推進</b>				
推進活動の実施	奈良県節電協議会の定期開催		奈良の省エネ・節電スタイル連絡調整会議の開催	
省エネ・節電の優秀な取組事例の表彰			省エネECOチャレンジの募集、表彰等	
<b>省エネ・節電対策への支援</b>				
中小企業・福祉施設・医療施設向け支援			省エネ改修等への補助拡充	
<b>省エネ・節電の県民等への理解促進</b>				
節電スタイルの定着を目指した普及啓発の実施	街頭啓発等節電キャンペーンの実施		省エネ・節電の啓発活動、省エネ・節電スタイルチャレンジキャンペーンの実施	
<b>県・市町村による省エネ・節電対策の率先垂範</b>				
奈良県庁ストップ温暖化実行計画(第三次)に基づく庁内の省エネ・節電等の率先垂範等			取組の継続的な推進	

## これまでの成果

★ 県内の再生可能エネルギーの導入状況について、平成28年3月末時点で平成22年度比4.8倍に達し、第1次エネルギービジョン（平成25年度～平成27年度）の目標である「平成27年度の再生可能エネルギーの設備容量について平成22年度比の3.8倍を目指す」を達成しました。

● 県内の電力使用量について、第1次エネルギービジョンの目標である「平成22年度の電力使用量から5%削減した状態を平成27年度まで維持すること」を達成しました。

● 平成28年度末には、県内56カ所の公共施設に、非常用電源として太陽光発電や蓄電池設備等の設置が完了します。

● 奈良県節電協議会の枠組を利用した取組の推進により、平成28年度夏季の節電実績について、最大電力が平成22年度比20.2%減となりました。

## 主な指標の動き

### ●よくなっている指標

FIT制度による  
再生可能エネルギー導入実績(面積1km<sup>2</sup>当たり)

5.4kW/km<sup>2</sup>

(平成24年度 全国26位)



89.5kW/km<sup>2</sup>

(平成27年度 全国30位)

FIT制度導入により、県内の再生可能エネルギーの導入実績は、平成24年度比で16.6倍と、大きく増加しました。

使用電力量(電灯(注))の削減率  
(対H22年度比・人口1人当たり)

5.9%

(平成24年度 全国13位)



15.1%

(平成27年度 全国9位)

奈良の省エネ・節電スタイルの定着を図り、省エネ・節電対策を推進したことにより、使用電力量の削減が進みました。

(注)電灯:主に家庭や商店、事務所等で使用する電気



次世代エネルギーパーク見学バスツアー(近鉄花吉野ソーラー発電所)



電気エネルギー教室(奈良市)



木質バイオマス発電所(大淀町)



奈良県省エネECOチャレンジ表彰



エネルギーパーク参加施設位置図(平成28年3月時点)